

仕事と子育て等の両立を阻害する慣行等調査の結果について

令和4年4月19日
内閣府男女共同参画局

仕事と子育て等の両立を阻害する慣行等調査

仕事と子育て等の両立を阻害したり、父親の育児参画を阻む身近な慣行等について、事例の収集・分析を行い、今後の対応策を検討することを目的に調査研究を実施

実施概要

調査種別	個人オンライン調査	意見募集
対象	インターネットモニター調査 小学生以下の子供を持つ20-49歳男女個人	一般個人
期間	2021年12月23日（木）～12月28日（火）	2022年1月18日（火）～1月28日（金）
手法	インターネットアンケート	インターネットアンケート （内閣府男女共同参画局HP・Facebook・Twitterによる情報発信）
回答数	2,166名 （男性1,057名、女性1,105名、その他4名）	5,640名 （男性236名、女性5,334名、その他70名）
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none">・子育てに関する困りごと（自由回答）・困りごとを解決する工夫・アイデア（自由回答）	<ul style="list-style-type: none">・子育てに関する困りごと（自由回答）・困りごとを解決する工夫・アイデア（自由回答）

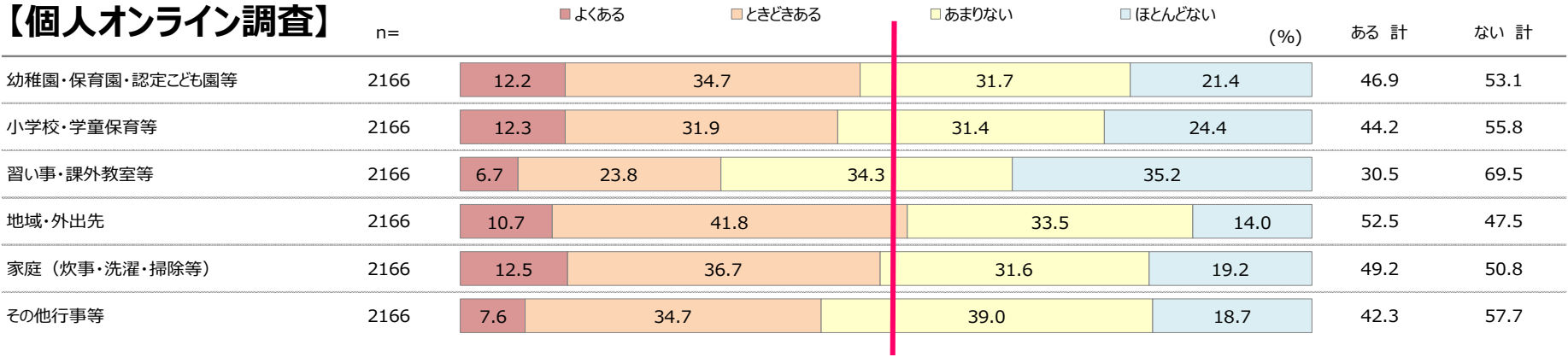
子育ての困りごとの有無（全体）

6つの場面での子育ての困りごとの有無を尋ねた。

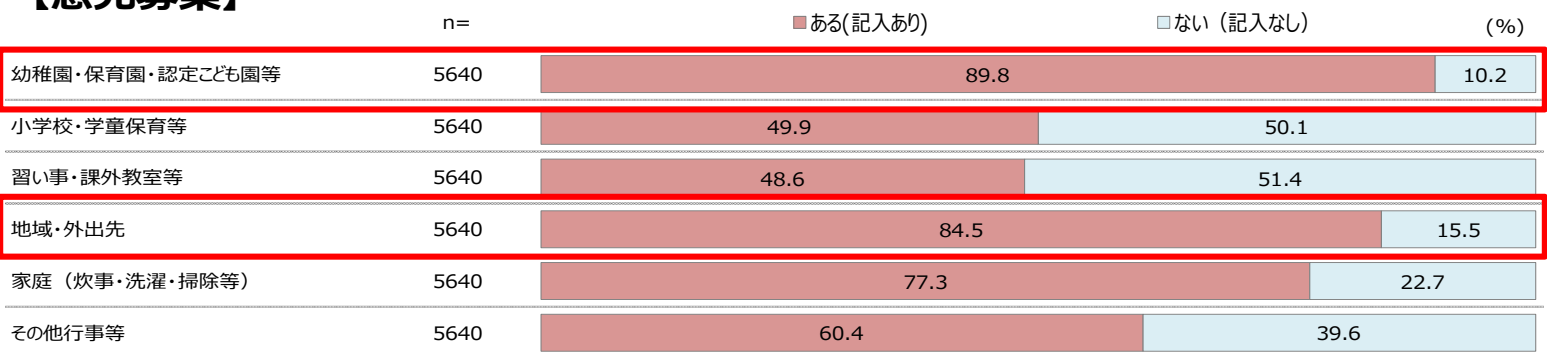
- 個人オンライン調査では、困りごとが『ある（よくある、ときどきあるの合計）』と回答した割合は、「**習い事・課外教室等**」を除く**全ての場面で5割前後**を占めている。
- 意見募集では、困りごとの記入があった割合は、「**幼稚園・保育園・認定こども園等**」**89.8%**が最も高く、「**地域・外出先**」**84.5%**が続く。

※「地域・外出先」の困りごとのほとんどが、外出時・外出先での困りごとであった。

【個人オンライン調査】



【意見募集】



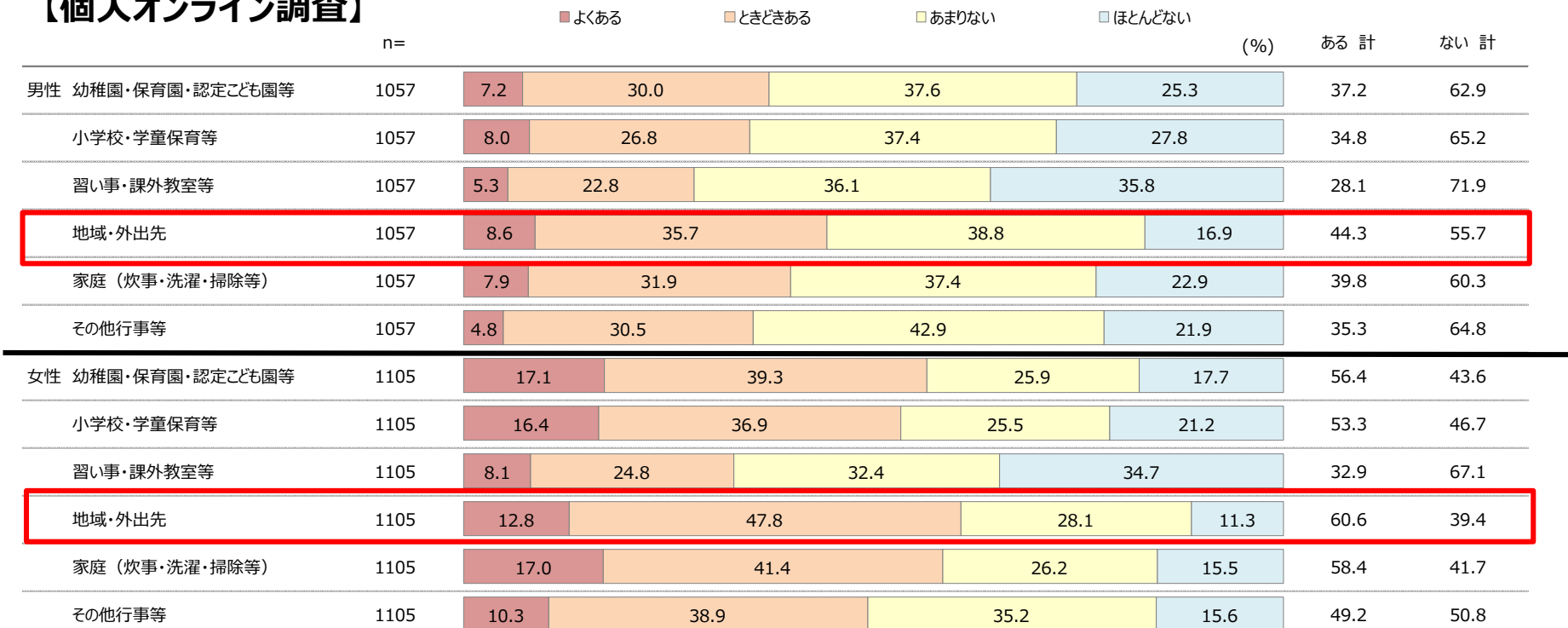
※回答者が6つの場面ごとに設けられたそれぞれの回答欄に困りごとを記入した数を基に割合を算出。

子育ての困りごとの有無（男女別）

困りごとの有無を男女別でみると、

- 全6場面で、男性より女性のほうが困りごとがある割合は高い。
- 男性・女性ともに「地域・外出先」での困りごとのある割合が高い。

【個人オンライン調査】



※性別「その他」はサンプル数が少ないため省略

1. 幼稚園・保育園・認定こども園等での困りごと 1 / 2

入園申込等の手続き

- 入園申込時、入園時、入園後で似たような内容を**何度も手書き**で書く。
- 年度替わりに、出生時体重や予防接種履歴等、**毎年変わらない情報を手書き**しており、勤務先記入欄もあるため会社にも負担をかけている。
- マイナンバーカード活用で**オンライン手続きが出来るようにしてほしい**。

持ち物の準備・記名

- 保育園指定の用品が多く、**サイズ等の規格が細かく決まっています準備が手間**。
 - **おむつやビニール袋まで、一つ一つ記名**を求められる。
 - 着替え、おむつ、タオルを毎日準備するため**荷物が多**い。
 - **使用済みおむつの持ち帰り**。
 - 毎週**布団の持ち帰り**があり、雨の日などには対応できない。
- <乗り越えるための工夫等の例>
- おむつのサブスクリプションサービス（定額制・使い放題）
 - 布団のレンタルサービス



園と保護者の連絡手段

- 連絡帳が**手書き**。
 - 連絡帳が**デジタル化されたが**、起床時間、朝食、排便、検温等の情報を全て入力しないと送信できないため、**紙の時より手間**が増えた。
 - 園からの**お知らせが紙**であるため、長期間休むと一切受け取れない。
 - 欠席、遅刻などの**連絡方法が電話**のみ。
 - 緊急時の連絡先に**父親の番号を書いている**でも母親の番号を聞かれ、**連絡は母親の職場**に来る。
- <乗り越えるための工夫等の例>
- 登降園管理や保護者への連絡をオンライン化

1. 幼稚園・保育園・認定こども園等での困りごと 2 / 2

保育料等の支払い方法



- 保育料は口座引落しだが、おむつ処分料や給食費等その他の**集金が現金**で、「お釣りのないように」といわれる。
- 各種支払いが口座引落としなのはいいが、**指定の地銀**しか受け付けてくれないため、**わざわざ口座を開設**した。
- クレジットカードやQR決済など**キャッシュレスの支払いを導入してほしい**。

行事等の日程調整 ・参加について

- **行事が基本的に平日**で仕事をしていると参加できない。
- 保護者会等の**役員は母親が前提**となっている風潮がある。
- 共働きでも参加できるような短時間のPTA活動を用意してほしい。

一時保育等の利用

- 土曜保育やリフレッシュ目的保育も制度上可能だが、**申込を拒まれ、実質利用させてもらえない**。
- 一時保育の**予約が電話のみ**で、予約開始日の朝にかけてもすぐ埋まってしまう。

保活・退所ルール

- **保活が大変**、リサーチに時間もかかる上、必ず入れるかわからない。
- 自治体によっては**下の子が生まれて育休をとると、上の子が退所**になり、仕事復帰の際は2人分の保活が必要になる。

2. 小学校・学童保育等での困りごと 1 / 2

持ち物の準備・記名

- 指定の学用品の**サイズ等の規格が細かく決まっています準備が手間。**
- **持ち物の一つ一つに記名**を求められる。
- **給食当番のスモックや帽子を自宅で洗濯、アイロンがけするのが負担。**
- **おはじきや書道セット等の教材は共有とし、個人が所有しなくても良いのではないか。**

学校と保護者の 連絡手段



- 学校からの**お知らせが紙**であるため、**紛失の恐れがあったり、保管が面倒。夫婦での共有もしにくい。**
- **電話で欠席連絡**をすることになっているが、学校から「朝の電話が多すぎて業務に差し支える」とお便りがきた。それなら**メールかSNSで済ませられるようにしてほしい。**
- タブレットが持ち帰り禁止となっているが、**タブレットを通じて宿題やお便りを出して欲しい。**

行事の日程調整

- **入学説明会が平日**で、予備日がないため参加が難しい。
- 行事の日程等、**周知が遅いもしくは直前。**
- 休日の行事があるが、月曜日が振替休日となるので結局、仕事を休まなければならない。

PTA・保護者会の負担

- PTAや保護者会が**平日に対面で開催**されるため参加できない。
- PTAの**出席や役員となる**ことが半ば強制的。
- PTAで何時間もかけて**ベルマークを手作業で集計**している。

2. 小学校・学童保育等での困りごと 2 / 2

学童保育や親の帰宅までの居場所の確保



- 学童保育自体の**数が少ない**。学童保育の児童数に対して**職員が少ない**。
- **入所条件が厳しく**、高学年になると鍵っ子にならざるを得ないが、犯罪に巻き込まれないか不安。
- **民間の学童保育は費用が高く**、補助金もないため利用できない。
- **発達障害**があると学童保育は**利用しにくい**。
- 親が帰宅するまで子を安全に待たせることができない。公園も昔と違って安全ではないので、高額な月謝を払い習い事をさせるしかない。

見守り当番の負担

- 通学時の見守り当番を**仕事がある親がやるのは厳しい**。
- 通学時の危ない場所の見守り当番は、**シルバー人材等に外注してほしい**。
- 通学時に親の付き添いを求められることがあるが、GPSで到着の無事を確認できるようにしてほしい。

その他

- 教員の多忙さが話題になっているので、申し訳なくて些細なことは相談できない。
- 集金袋による**現金の集金**は、直ちに**キャッシュレス対応すべきである**。
- 入学前に近隣の在学学生を連絡児童に指定するよう指示があったが、そもそも近隣で誰が通っているのかを知らないし、入学前に確認する機会がない。

3. 習い事・課外教室等での困りごと

送迎

- 仕事があるため、**平日の送迎ができない**。習い事の選択肢も狭まる。
 - 習い事の送迎にベビーシッター割引券が使えないのが不便。
- <乗り越えるための工夫等の例>
- 送迎バス付の習い事や、リモートでの習い事がある



運営方法

- **性別の異なる親子**だと更衣室が異なるため、プール等は参加が難しい。**多目的更衣室を設置**してほしい。
- **障害のある子供**だと、受け入れを**断られることが多い**。
- 月謝の支払いが毎月現金の手渡しで準備が手間。

その他

- 少年野球等で、**父親はコーチ、母親はお茶出しや配車**といった**性別による分担**がある。
- 地方だと習い事の選択肢が少なく、都市部だと定員オーバーであったり地域によって差がある。
- 塾や習い事に通わなくても済むような、充実した学校教育にしてほしい。



4. 地域・外出先での困りごと

子供を連れての移動



- **エレベーターの数が少なく**、ベビーカーでの移動が困難。
- ベビーカーでは**満員のエレベーターや電車に乗れず**、**何回も見送る**ことが多々ある。
- 歩道が狭かったり、段差も多く、危ないし移動しにくい。
- **駅にホームドアがなく**、子供を連れて行くのが怖い。

<乗り越えるための工夫等の例>

- 鉄道会社による駅構内のエレベーター等の案内サイトの運用
- 子育て応援スペースを設けた車両運用

トイレ・公園・ 公共施設等



- 公共施設、商業施設において、**男性用トイレにおむつ替え台やベビーチェアがない**。**ベビールームに男性が入れない**。**子供用トイレや子供と一緒に入れるトイレの数が少ない**。おむつ替え台やベビーチェアの設置は**義務化してほしい**。
- 遊べる場所が少なく、公園もキャッチボールや玉蹴り程度の遊びも禁止されている。
- 公園のトイレが汚かったり、除草がされていない等、管理が行き届いていない。
- スーパー等で**ベビーカー置き場がない**。ベビーシートがないカートだと買い物しづらい。
- **子供向けのメニューが少ない**、**離乳食の持ち込みを認めているレストランが少ない**。

<乗り越えるための工夫等の例>

- 「子育て支援パスポート事業」協賛店舗による乳幼児連れの外出サポートや各種割引・優待サービスの提供（内閣府・地方公共団体）

※粉ミルクのお湯の提供・おむつ替えや授乳スペースの提供・ベビーカー店内利用・低アレルギーメニュー・割引 等

周囲の理解

- 電車等の公共の場で子供が泣くと嫌な目でみられたり**子育てに対する理解がない**。
- 幼い子供を連れていても**優先座席を譲ってくれない**。

その他

- 夏祭り、廃品回収等の**強制参加の地域行事が負担**。
- **母親は子供会、父親は自治会と性別で役割が決められてしまう**。

5. 家庭（炊事・洗濯・掃除等）での困りごと

炊事の負担



- ・ **離乳食の手作り神話をやめてほしい。**
- ・ **小さい子供向けの冷凍・レトルト食品が増えてほしい。**
- ・ 食材を買いに行く時間がない。
- ・ 毎日献立を考え、一から栄養バランスの取れた食事を考えるのは限界がある。
- ・ アレルギーに配慮して食事をつくるのは大変、市販のものはほとんど食べられない。
- ・ **アレルギー対応のミールキットや惣菜が増えてほしい。**

<乗り越えるための工夫等の例>

- ・ 献立アプリの利用、ミールキットの宅配利用

洗濯・掃除の負担

- ・ 子供の世話をしながら洗濯、乾燥、たたむのが大変。
- ・ 仕事と育児で掃除まで手が回らない。掃除機は子供が寝ているときにはかけられない。



家庭内の分担



- ・ **夫の理解がなく、家事や育児をしない。**
- ・ 日本の男性が変われば、ほとんどの家庭の困りごとは解決する。
- ・ まだまだ**女性が家事をやるものという意識**が根付いている。
- ・ 夫と協力して家事を行っているが、夫の仕事で帰りが遅い場合は自分ができるしかないので、結果としてワンオペ状態になっている。
- ・ **体調不良**になった時に**頼れる先がない、サポートがない。**

家事代行サービス

- ・ 家事代行サービスは**高額で日常的には使えない**。充実しているのは都心中心で、**田舎はまだまだ普及していない**。
- ・ 家事代行を頼んでみたいが、**家に知らない人をあげることに抵抗**があり諦めた。

6. その他の困りごと

乳幼児健診・予防接種 の手続き

- **乳幼児健診**の日程が、**平日に固定**されていて変更ができなかった。
- 問診票に住所、氏名、保護者氏名、連絡先、出生体重、過去の接種日等、**同じ内容を何度も**書かなければならない。
- **オンラインで手続きできるようにしてほしい。**

障害児支援

- 障害を持つ子供への対応で役所、病院、保育園等で**毎回同じ内容を聞かれる。**連携してほしい。
- 医療費の助成に所得制限があり、**金銭的な負担**が重い。

父親の疎外感

- 健診日が平日であったり、**専業主婦が家庭にいることが前提で、父親の参加が想定されていない。**
- **お便りの宛先が「お母さんへ」と**なっている等、父親の育児参加を求める割に、世の中の**仕組みや制度、慣習が旧態依然のまま。**

子育て世帯への サポート

- 同じ自治体の産後ケアでも内容によって申請方法等が違う。体系化されていない。
- コロナ禍で育児中の母親は孤独を感じる。オンライン相談窓口やイベントの充実を図ってほしい。